

かがやき

耀

議会だより

KAGAYAKI

やかげ



東天から旭光を浴びる
おおくにぬしのみこと
大國主命
重伝建地区内

令和4年 第7回一矢掛町議会 第4回一定例会 報告

提案・要望、さまざま聞きました! 一般質問 ... P 5 ~ P11

臨時企画 新教育長インタビュー ... P14 ~ P15

『不断の防災意識を持つ!《後編》』 ... P16 ~ P19



議会だより
YAKAGE(1)

謹賀新年

コロナ禍の閉そく感から脱却…有効な町振興策を！
町民生活向上の行政施策を実現！機能する議会へ



— 令和5年、『議会力』を高める！…議員の抱負 —



矢掛町議会事務局

矢掛町議会



本年もよろしくお願い申し上げます

高齢者福祉、若者世代の定住化、商業・農業振興及びデジタル化など社会の変化に対応しながら町の課題を解決するため、行政側に提言し、議論を進めて参ります。



矢掛町議会
副議長
田中 輝夫

この一年が穏やかで歓喜にあふれた良い年となりますよう祈念致します。本年は新しい執行部体制・新しい議員構成の町議会にとりまして行政施策の実務的なスタートの年と言えます。その観点から議会としては先ず第一に町民皆さんの『声』を反映するべく適正に議決の職責を果たし、一丸となって『まちづくり』に取り組みます。



矢掛町議会
議長
花川 大志

明けましておめでとうございます。



小塚 郁夫

コロナ禍の収束が見えない中、感染症対策費や電力・材料費の高騰などに補助制度を有効活用できるよう知恵を出し、住民が「安心・安全」に暮らせる住みたい町づくりに努力を重ねて参ります。



石井 信行

毎戸の駅家（うまや）遺跡の発掘が進んでいます。千年以上前からの、先人たちの営みが、明るみに出てき始めています。身近にある歴史の跡を探して、町づくりに生かしていきたいものです。



川上 淳司

今年は、矢掛高校の存続に向けた、努力をしています。また、ゴミ問題が皆様に浸透し、『燃やせばゴミ、再利用すれば資源』となるようにアピールを行い、ゴミ問題に一石を投じていきます。



土田 正雄

急速に進む少子高齢化や、ライフスタイルの多様化など暮らしも変化しています。みんなが支え合い、子育て世代にやさしく、誰もが安心して暮らせる町づくりを目指します。



浅野 毅

矢掛町には文化財が多くあります。吉備真備関連遺産、毎戸駅家遺跡、重伝建地区等には他に例をみない矢掛の貴重な財産です。この貴重な文化遺産を後世に残し国内外に発信すべく頑張ります。



土井 俊彦

昨年は三年ぶりに大行列も復活し、コロナ感染症対策を徹底したうえで多くのイベントも開催されました。本年はさらに矢掛町活性化推進のため町民皆様のお声を町政に届けてまいります。



屋田 政義

『地域の安心・安全』を守るために、今年度も防災対策・高齢化問題に取り組めます。また地域懇談会等を通して皆様の『声』を町政に届け、それを実現出来るよう全力で頑張らせて参ります。



福田 京子

住み慣れた矢掛町が、より住みやすく、また訪れる人にとっても魅力的であるように皆様からのお声を行政に届けます。子育てや暮らしなど、安心安全の町づくりに小さなことから取り組みます。



岸野 榮治

住民の要望を第一に地域の話し合いのもとで必要な事業を取り進める。町民の声をしっかりと聞き「住んでみたい町、魅力ある町、安全安心の元気な町」を目指して頑張ります。



原田 秀史

二期目を迎えた本年は、町政の一翼を担う町議会議員の一員として、今まで以上の自覚と責任、使命感を持ち、議会人としての役割を果たし、町づくりに取り組んでまいります。



議会だより
YAKAGE(2)

基幹産業を守る！『農業振興対策基金』設置

コロナ対策・マイナカード申請支援・交通インフラ整備ほか、各基金へ堅調な積み立て

一般会計補正予算（第5・6号）**総額4億4百万円可決**

山岡町長より招集された第7回矢掛町議会第4回定例会は、12月6日から同14日までの9日間を会期として開催。

議案は条例の改正及び新規制定、各会計の補正予算、基金条例制定、指定管理者の指定などに加え、議会発議案を含め全23件を審議した結果、議会は全議案を原案通り全会一致で可決し閉会した。

開会冒頭の挨拶を兼ねた諸般の報告の中で山岡町長は、新型コロナウイルス感染症の第8波の到来と季節性インフルエンザの同時流行への懸念を示し「感染対策と経済活動の両立に努める」とし、更に「行政のデジタル化推進」とあわせて「新年度へ向けて事業計画、及び予算編成に取り組んで行く」とした。

今定例会に提出され

た議案は本会議で採決されたものを除き、各常任委員会に付託され審査を行い、会期末の本会議で採決の結果、全議案を可決した（尚議案第66号・同67号・同68号の3議案については執行部から議案撤回の申し出があり議会はこれを了承した）。

※P4～P11に定例会関連記事
主な可決議案の概要及び一般質問

農業振興対策加速！基金条例可決

町は基幹産業である農業の振興を図ることを目的として「矢掛町農業振興対策基金」の条例案を上程した（補正予算・基金計上と連動）。基金の規約等詳細設計は令和5年3月定例会で開示するとし、それに先立つ新規条例制定案を議会は全会一致で可決した。

水車の里フルーツピア 指定管理者決定！ 施設維持管理・入園者の利便性向上へ

議会は『矢掛町水車の里フルーツピア』の指定管理者の指定として提出された議案を全会一致で可決した。

昨年9月からの募集に対して応募者は1団体のみで株式会社エンジョイファームに決定（指定期間は令和5年4月1日～令和10年3月31日までの5年間）。



一般会計・補正予算（第5号・第6号）概要

予算決算常任委員会は本年度矢掛町一般会計補正予算案第5号及び定例会最終日に追加上程された同補正予算案第6号の審査を行った。

約2億円のふるさと納税を主な財源として編成された施策や事業の内、基金への積立計上が総額1億3250万円と堅実な財政運営のほか、予算全体の内容を議会は評価し全会一致で可決した。

款 別	第5号(円)	第6号(円)	主な予算概要
議 会 費	▲744,000		
総 務 費	160,610,000		マイナンバーカード申請支援ほか
民 生 費	5,995,000		地域介護福祉空間整備補助ほか
衛 生 費	23,439,000	9,845,000	出産・子育て応援事業ほか
農林水産業費	8,051,000		農業振興費・農道改良費ほか
商 工 費	3,768,000		空き家活用新規創業支援事業ほか
土 木 費	32,585,000		道路維持費・道路新設改良費ほか
消 防 費	7,314,000		井原地区消防組合負担金
教 育 費	19,015,000		山田公民館改築基本設計費
公 債 費	▲26,000		
諸 支 出 金	132,500,000		農業振興対策基金積み立てほか
予 備 費	493,000	155,000	
* 補 正 額 *	394,000,000	10,000,000	※補正予算(第5号・第6号)合計：4億400万円



可決

○個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

➡矢掛町は法の規定に基づきマイナンバー（個人番号）を利用できる事務を条例で定め、他の行政機関等と情報連携を行うことが出来るようになります！

*** 情報連携が行える矢掛町の条例で規定する独自利用事務 ***

- 矢掛町心身障がい者医療費給付条例
- 矢掛町ひとり親家庭等医療費給付条例
- 矢掛町小児医療費給付条例

➡住民の手続き負担を軽減し利便性が向上！
行政機関間の情報 やり取りを迅速化・効率化！



議員A子さん

可決

○町立保育園及び認定子ども園条例の一部を改正する条例の一部改正

➡矢掛町保育園条例及び矢掛町認定子ども園条例における保育料を徴収しない期限を“2年間延長”する条例改正案を可決しました！

*** 保育料を徴収しない規定（保育料無料化）の延長期間 ***

○町立保育園（3園）・認定子ども園の保育料無料化の期限を令和7年3月31日まで2年間延長する。

➡子育て世帯への支援の充実で“安心して子育てができるまち”として住んで良かった子育てに優しい町が実現されます。



●元気なやかげつ子の声が響く「矢掛認定子ども園」。



●町内のコンビニエンスストアに設置されている多機能端末機。

我が町の条例：議決しました！

12月定例会では新たに計5件の条例改正及び新規制定案を全会一致で議決しました。

いずれも町民生活に密接した利便性向上や有意な行政サービスの享受等に関連した内容のものです。

可決した条例の内容は公布・施行日から実施されます。

「条例」とは町が議会の議決を経て国の法令に違反しない範囲で自主的に制定する住民の権利義務などに関する法規のことです！つまり我が町だけで適用される自治立法のことです！



ぎかい君



議員Cさん

可決

○矢掛町手数料条例の一部改正

➡コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機を介して各種証明書等の交付を受けた場合の手数料が減額されます！

➡マイナンバーカードの普及とコンビニ交付による行政サービスの利便性が向上されます！

証明書の種類	現行	改定手数料
住民票の写し	200 円	100 円
印鑑登録証明書	200 円	100 円

水道管の冬支度はお済みですか？

➡今年の冬も強い寒波の到来が予想されます。断水等の被害を発生させないためにも、ご家庭内の水道管に“凍結防止対策”の実施をよろしくお願い致します。

- 矢掛町上下水道課 -

審 議 結 果

* 矢掛町議会ホームページをご覧ください *

<http://www.town.yakage.okayama.jp/gyosei/gikai/gikai.html>

“定例議会の審議結果”をクリック

全 議案の審議結果をアップしています。



やかげ観光大使
やかっぴん

携帯電話・スマートフォンの方はQRコードを読み取りください。



議会だより
YAKAGE(4)



古紙回収ステーションを作れないか？ SDGs（持続可能な開発目標）に取り組み ゴミ処理問題は今後の課題 環境全般の調査研究を急げ

川上 淳 司 議員

問

先の視察研修で、福岡県大木町で見たことを述べたいと思う。

視察先では先進的なことをしていた。

バイオマスセンターを作り、生ゴミとし尿を集めてバイオガスと液肥を作っていて、バイオガスは発電機を使い、施設内のお湯と電力になり、液肥が作られる。

その液肥は町内の田畑に散布している。

全く無駄のない施設となっていた。

ここまで取り組むにはハードルが高いので、資源を大切にすることで、紙の収集場所を作り、いつでも町民が持ち寄れるようにすることとはできないかを質問する。

岡山市や倉敷市、その他市町村では持っていたらポイントがもらえることも考えたら

どうか？

答

町民課長

古紙を回収する古紙ステーションを作れないかだが、岡山市や倉敷市、それから近隣の市町では民間の業者



として各地域のゴミステーションで古紙の回収を行っている。また、PTAや子供会、地域のサロン等の資源回収推進団体等が、資源の再利用およびゴミの減量化を目的に古紙を含

が古紙回収ステーションを設けてポイントをつけて、古紙回収事業を行っているステーションがある。

矢掛町では資源ゴミ

め、資源回収を行っている。

今後、回収の業者からの相談があれば、協力できることは協力していきたい。

問

ゴミ問題はこれからの行政に大きくのしかかってくる。

町民に少しでも問題と捉えていただくことが今回の質問の一番のポイントだと思うが、燃やさないゴミの処理を考えていくように意識付けを行う上で最初の一步と考えており、今後SDGsとして取り組んでいかなければならない問題だと思いが、町長のお考えを問う。

答

町長

ゴミ処理問題は、今後の大きな問題であると認識している。

ゴミ問題を含め、環境政策全般について今後調査研究が必要と考える。

国や県、また専門家の方々のご意見を聞く中で、民間活力も含めて今後矢掛町で何ができるのか研究していきたい。

たいと考えている。

提言

ゴミを減らす方法を考えることはとても大切だと思っており、また簡単などから始められるのが古紙だと思ふ。『燃やせばゴミが、再利用すれば資源』となるように皆さんで取り組んでいければと思っている。今後とも力を合わせて町内のゴミの減量化に努めよう。

質問台を降りて…

（ひとり言）

今回の質問は、はっきりさせるべきと思いましたが満足できない回答を残念に思います。質問を行う上での調査をもっと少し積み上げるべきでした。



議会だより
YAKAGE (5)

有害鳥獣被害対策事業について 町単独での補助制度を設けてはどうか

重度精神障がい者医療助成の 精神障がい者への適用について



議員 土田 正雄

問 矢掛町内においても鳥獣被害が多く農業生産意欲がなくなるほど深刻な問題になっている。町政懇談会などでも各地区でも有害鳥獣被害対策の要望が多かった。

中山間地域では、農地が点在しており個人で一団地となっている農地も多く、県の補助事業が利用できない。そこで、補助要件を緩和し、町単独での補助制度を設けてはどうか。

答 産業観光課長 矢掛町は、中山間地域であり、受益面積が2ha以上と緩和されている。鳥獣害対策は捕獲と防護を一体的に取り組む必要がある。町内には、100基以上の捕獲檻を設置しており、11月15日現在330頭のイノシシを捕獲・駆除している。防護

護柵についても、個々では鳥獣害被害から守ることは難しく、集落で一体的に取り組む必要がある。

問 集落を囲むように防護柵（ワイヤーメッシュ）で囲むなどの対策をとっても、集落内の道路を塞ぐことはできない。電柵を設置しようとしても、同じ個所に2重に補助事業は活用できない。最終的には、個人負担で電柵やトタンで自分の農地を囲み被害から守っている。

答 農家が継続して農業に専念できるようワイヤーメッシュ、電柵、トタンなどの補助制度についての考えを問う。

答 町長 今年10月補正において、矢掛町農業資材等物価高騰対策事業を創設し、新型コロナ感

染症に伴い農業経営にかかわるコストが全体的に上昇し、農業者にとつて厳しい状況が続いており、耕作意欲を失わないよう支援を実施している。

今年度「矢掛町農業振興対策基金条例」を創設する。その中で、侵入防止整備支援に対して、集落の負担軽減につながる政策を検討したい。



問 矢掛町議会では、平成30年度に精神

障がい者が、精神科以外の医療機関にかかった時でも、精神障害者保健福祉手帳1級の手帳所持者などの条件を満たせば、医療費の本人負担が1割となる、いわゆる重度心身障害者医療費助成制度の対象に精神障がい者を加えることについて、全会一致で採択された。

県下でも、単独での制度適用を決定し、すでに実施している市町村も増えている。単独で実施すると本人の医療費負担は3割から1割になるが、自治体の負担は増える。

精神障がい者が、身体、知的と同じスタイト台に立てるようについで、精神障がい者1級について、単町費でこの制度の対象者とすることについて問う。

答 福祉介護課長 心身障害者医療費

給付制度については、「岡山県心身障害者医療費公費負担制度補助金交付要綱」に基づき町での対象者を身体障害者手帳1・2級所持者、療育手帳A判定、身体障害者手帳3級かつ療育手帳B判定の方としており、医療費負担は1割負担で、所得に応じた限度額が設定されている。精神障がい者の方は、県の補助金対象者でない。財源の確保がないまま単町のみでの実施は難しい。

答 町長 精神障がい者の方は、県の補助金の対象者ではないが、県に対して強く要請していきたい。

質問を降りて…
ひとり言
今後とも県に対して強く要望して頂きたい。



鳥インフルエンザの防疫対策…影響は？ 風評被害防止と食品への安全対策は？

各保育園での使用済み紙オムツは園での処理を！
3歳児以上の園児の主食(ごはん)も町負担で実施を！

田中輝夫 議員

問 本年10月下旬から11月上旬に鳥インフルエンザが発生したが防疫対策の現状について問う。

答 産業観光課長
倉敷市内の3農場で高病原性鳥インフルエンザが発生し県及び町では「家畜伝染病等対策本部」を設置した。発生農場周辺への感染拡大を防止すること、移動制限区域の外側、搬出制限区域の外側への感染拡大を防止するため、発生農場周辺3km及び10km地点付近の2ヶ所に消毒ポイントを県が24時間対応で設置した。防疫作業の従事者は県・市・町・農政局・JAグループ延べ8330人及び自衛隊延べ2200人。現在3ヶ所全ての農場で汚染物品等の処理は11月13日完了している。

問 鳥インフルエンザは今後も発生する可能性が十分考えられる。食品への安全及び町内養鶏業者への防疫対応はどのように考えているか本町の見解を問う。

について県のHPに記載されており、町もHPと有線放送で周知を行っている。
町内養鶏業者の防疫措置については岡山県井笠家畜保健衛生所から直接指導を受け、県及



鳥インフルエンザ消毒防除作業の風景

答 町長
感染した家禽の肉及び卵が市場に回収することはなく、鶏肉・卵を食べることににより、鳥インフルエンザウィルスが人に感染することは報告されていない。風評被害の防止

問 各保育園で使用済み紙オムツは保護者が持ち帰ることで実施されているが、衛生管理の観点及び保護

者・保育士の負担軽減から園で処理する考えはないか問う。

答 健康子育て課長
園では日常的な心身の健康状態を把握し、健康問題について早期発見・早期対応に努めている。保護者に子どもたちの健康状態に普段から気を配って頂く必要があり取り組みの一環として実施していた。また、使用済み紙オムツを町で廃棄する場合、4園で年間10トン以上の可燃ゴミが発生し、処理費用として保管庫の整備、収集運搬費など必要になる。しかし、ノロウイルスなど感染症予防の衛生面、持ち帰りをなくすことで保護者の負担も軽くなり、保育士の負担も軽減できるメリットもあるので、費用負担の課題はあるが廃止に向けた検討を進

問 保育園では3歳以上は主食を持参している。3歳以上の主食も町が補助する考えはないのか問う。

答 健康子育て課長
3歳児未満と3歳児以上の扱いは国の制度により違っている。町が3歳児以上の園児の主食を提供するとした場合、お米の保管場所、調理スペース、調理や配膳に従事する人員の課題等がある。保護者の要望を聞きながら主食の提供について検討していく。

質問台を降りて…

（ひとり言）
概ね期待していた回答でしたが、実施まで注視していきたいと思えます。



議会だより
YAKAGE (7)

用水路の補修実態調査をしてほしい 学校給食無償化を、256自治体と共に

国保の税率据え置きと、子どもの均等割り廃止を ゴミの資源化を！旧統一協会関連の後援をやめよ



石井 信行 議員

問 農家戸数の激減、用水組合の老齢化や財政難により、用水組合の用水路維持管理が大変になっている。

答 建設課長
用水組合からそのような要望が出ていない。集団化による町内10団体により、適正に運営されている。

問 県内の備前市など全国256自治体とともに、学校給食の無償化を実現して、子育て支援をさらに広げてほしい。町長の英断を求める。

答 教育課長
学校給食は、出来る限り地元の良い食材を、出来るだけ安く提供するように心がけている。今、無償化すること

とは考えていない。

問 町長
課長が答弁したように、町として無償化の考えはない。来年度も、値上げをすることなく楽しくおいしい給食を提供したい。

問 町民の健康を守り、子育てを支援するために、国保税率の据え置きと、子どもの均等割りをなくしてほしい。子どもの均等割りに必要な予算額はいくらかになるか問う。

答 健康子育て課長
子どもの均等割りに必要な予算額は、320万円になる。

問 町長
今年の7月、国から、政令に基づく条例で定めた基準を超えて、独自に賦課を減免することはできないという通達が来ている。

問 ゴミ焼却場の新設に伴う負担増が懸念される。ゴミの減量化は待ったなしである。ゴミの減量化・資源化について先進地視察をしてきた。し尿を含む、町内から出るゴミを徹底的に分別・資源化し、メタン化・電気化・有機肥料化・建築資材化により、年収が3000万円増え、雇用促進も進んでいた。矢掛町でもゴミの資源化を進めるべきではないか。

答 町民課長
様々な取り組みにより、現在、ゴミの減量がかなり進んでいる。分別によって、資源化も目指している。

問 町長
県・国での様々な研修会で、先進事例を



老朽化した水路が多く点在する

聞いている。それらも参考にしながら、脱炭素化に向けた取り組みで、矢掛町では何が出るかを検討していきたい。

問 旧統一協会関連団体が行った「ピースロード」への後援をやめるべきだ。

答 教義に基づく集団結婚や養子縁組、生活を破壊する高額寄付など、教義団体関連の行事への後援はやめるべきだ。

問 総務防災課長
当時旧統一教会と

答 町長
今後、旧統一協会関連団体との関係は持たない。

質問台を降りて：
ひとり言
用水路の補修に当たっては、地元負担割合が多すぎる。このような状況ではふるさとを守るか心配だ。



SDGs達成に向けて前に進もう みどりの食料システム戦略を考えよう

郷土のいいものを見つけ・まるごと博物館
歴史かおる文化の町・もっと、もっと広めよう

浅野 毅 議員

答 産業観光課長
「岡山県みどりの食料システム戦略基本計画」を岡山県と県内27市町村により共同計画として作成し、環境負荷低減に資するモデル的な取り組みの創出と事業活動の横展開を効果的に進めていくこととしており、現在その計画をまとめています。現在岡山県が「岡山グリーン農業緊急推進事業」を実施しており、土壌診断に基づく適正な施肥や化学肥料削減への取り組みを定着させています。また矢掛町認定農業者が化学肥料コスト2割低減するために、土壌診断に基づく適正な施肥に取り組むことが出来る様、土壌診断機器の整備を行うために申請をしているところである。

問 昨年5月農水省は「みどりの食料システム戦略」を作成している。これは2050年までに二酸化炭素排出ゼロ化、化学農薬の50%削減、化学肥料の30%削減、有機農業の耕地面積を25%にするなどを掲げている。当町として「みどりの食料システム」についてどのように対応するか検討していると思うが現状を聞きたい。

問 当町にはやかげ郷土美術館があり、町民の期待に十分応えている。この度博物館法の一部改正があり（令和5年4月施行）従来は博物館を社会教育施設と位置付けていたが、博物館にはまちづくりや国際交流、観光、産業、福祉、教育等の関連機関と連携した文化施設としての役割が求められるようになった。そこで新しい矢掛の発展のために、

内外に発信するために総合プロデュースできる施設・博物館を検討したらと思うが見解を問う。

答 建設課長
モンベルは国内最大手のアウトドア総合メーカーである。協定の内容としてアウトドア活動等の促進を通じた地域の活性化と町民生活の質の向上に資する事としている。7つの事項について連携・協力することとしている。また「矢掛町アウトドアアグランドデザイン調査・策定業務」について締結した。

答 教育長
新しい博物館については矢掛の町づくりの方向性としては理解するが、矢掛の歴史や文化財のまとめができていないのが現状である。現在文化財の保存と活用に関心を入れていくところであり、現時点では新たな施設は難しいと考えている。

内外に発信するために総合プロデュースできる施設・博物館を検討したらと思うが見解を問う。

* 令和4年度博物館法の改正 *

従来は博物館法に文化芸術基本法を追記し、「地域活力向上」への寄与が付加されています。



ア活動等の促進を通じた地域の活性化と町民生活の質の向上に資する事としている。7つの事項について連携・協力することとしている。また「矢掛町アウトドアアグランドデザイン調査・策定業務」について締結した。

質問台を降りて...
博物館の新設について博物館法の改正を機に新しい発想で矢掛を見ようと思いい質問をしてみました。引き続き取り組みたい。

地域ふれあいバス運行見直しについて 施策事業の有効化を望む！

アンケートを利用し町民の声を聞くべき！
利便性を上げ乗車利用者の促進を図れ！



小 塚 郁 夫 議員

問 平成24年4月から運行開始しているふれあいバスが、平成24年度は14800人、平成25年度は14200人の人が利用していましたが、令和3年度は、コロナの影響もあると思うが、乗車利用者が5023人と大幅に減少している。現在の運行方法は、運行日は週2回、午前・午後の（美川線）（矢掛三谷線）（川面、中川線）（小田、矢掛線）の5路線を、ふれあいバス3台で運行している。特に令和3年度は（山田線）557人（小田、矢掛線）702人と乗車定員14人のふれあいバスに1人か2人しか利用していない。最寄りの停留所が遠いとか、もう少し時間帯が増えたらとか、色々な声が聞かれる。運行開始から10年が経ち、町民の皆様に幅広

くご利用して頂くためにも、見直しが必要ではないか？
十年一昔ということわざもあり考えを問う。

答 福祉介護課長
矢掛町地域福祉バ



くは福祉施策として高齢者等を対象に各地区を週2回運行し買い物や医療機関への移動手段としての役割を担っており、利用者は年々減少し今後のあり方について検討する必要がある

あると考えている。地域福祉バスは、補助的な交通手段であり、民間の公共交通機関の適切な運行を妨げない範囲で無料運行を行っており、運営については限界があり、今後、利

用者の利便性を追求していく中で、新たな公共交通施策の導入も視野に入れ検討する必要があると考えている。

問 アンケート調査は賛成する。介護保

険と一緒にアンケートも65歳以上の方に出すと聞ける。アンケート結果を知りたい人にはホームページでなく広報やかげで公表してもらいたい。

答 企画財政課長
アンケート結果につ

いては、どなたでも閲覧していただけるようにホームページで、公表する予定。ただし、アンケートはそれ自体が目的ではなく地域公共交通計画を策定するための材料という性格なので結果のみ公表するやり方はせず、計画の公表に合わせて巻末に付け加える形で掲載する予定。広報紙での公表は概要版という形になるがホームページの場合と同様、地域公共交通計画の公表に合わせて行いたい。

地域公共交通計画策定の為の調査か18歳か

ら64歳までの町民から1000人を抽出して行なうアンケートを年内に発送予定で、また民間交通事業者4社関係行政機関は既に実施済、井原鉄道等の聞き取り調査も今後実施する最中で、ご理解をお願いする。

提言 見直しを実施し、ふれあいバスの利便性を上げ、町民の皆様が利用しやすい方向にもっていったらいい。

質問台を降りて…
（ひとり言）
アンケート項目が自分が考えていたことと違い、答弁に違和感がありました。今後ふれあいバスの有効活用をうったえていきたい。



もっと矢掛を知ってもらおう 四季の移ろいも アピールしよう

井原線利用促進無料観光バスの運用について 町民も口コミで呼び込みに役立とう

福田京子 議員

問 矢掛町には本陣・脇本陣が揃っており、重伝建地区にも指定され、共に大きな魅力である。加えて、リピーターを呼び込むには四季の移ろいを感じることの出来る周辺地区をアピールする事は大切な施策になってくる。

シビックプライド、つまり地域を愛し誇りに思い、地域をより良くするための貢献をしよう、能動的に地域活性化につながる行動に関与しよう、そうした心意気のことである。まさにそれに応えつるのが矢掛町だと思う。

井原鉄道利用促進のための団体割引制度に加えての町独自の無料観光バスの事業は有効であり、誘客施策となっている。もっと利用してもらい、もっと長時間矢掛に滞在して欲しいものである。改

めて、このバスの設置目的や利用状況を探ねる。

答 産業観光課長
井原線の利用促進



井原線利用促進と矢掛の町を知ってもらうため、町内業者の協力で実施している

ポットの利用エリアやニーズに合わせて7つの運行ルートを設定している。

H27年度8件207人、H28年度8件18

と町内の観光振興を図る目的で行っている。

対象者は町外の10人以上の団体客とイベントの参加者である。矢掛駅を起点に観光ス

3人、H29年度6件140人だが、以降低調でR3年度は10人であった。

近年は豪雨災害や新型コロナウイルス感染

症の影響を受けて利用が少ない状況である。

問 この事業の有益性はあるが、利用件数は、減少気味のように

知っている人は少ないからではないか。また、HP・SNS（いわゆるネット交流）にうとい高齢者等には「矢掛」のチラシ等も有効ではないか。目的地が定まっていない人にとっても有効な方法ではないかと思う。

答 産業観光課長
紙媒体については検討し、広く普及啓発に努める。

提言 町内にもこの事業を周知させてもらえば、町民一人一人も「我が町矢掛」、先ほどの「シビックプライド」の気持ちで醸成され、

口コミでの紹介をすれば井原線利用促進の当初の目的にも合致するのではないか。

その際利用対象者を「町外の団体」と限定してあるので、町民は該当せず、乗せてもらえない。しかしながら招待をしたなら、同乗してガイドをするのは当然ではなからうか。また、将来的には、観光ボランティアの会の方々にも活動を拡大していただければと考える。

せっかくの事業を最大限に活用したいものである。

質問台を降りて…

①と②言

矢掛のすばらし
いところ、情報交
換いたしましよ
う。気付いてない
こときつとありま
すよ。



議会だより
YAKAGE (11)

議会傍聴見聞録 ～議事堂から～

執行機関と議決機関が一堂に会する定例会〈本会議・委員会〉へ傍聴に来場された町民の方々からのコメントを紹介し行政・議会への関心・見える化を推進します。

初めて議会を傍聴させて頂きました。議員の方々、執行部の質疑応答を聞き、私自身もっと多くの有権者が積極的に議会を傍聴するべきだと痛感しました。

今の町の議会での現状を知った上で自分自身も有権者として開かれた議会が今以上に前進するよう、また機会があれば傍聴したいと思いました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。

矢掛地区 Y・Hさん

矢掛町の取り組みが理解でき傍聴してよかった。要望として町議の質問が総括的な為か具体性に欠け、対応も総括的なものになっているので進展に繋がりにくいと考えます。例としてゴミが減ったと報告があったが、どのような施策をしていくら減ったかが重要、来年は増える可能性があると思います。具体性・デジタル化(数値化)のある質問をするよう議長が指導できませんか。

山田地区 M・Nさん

〇有意義なご提案、感謝申し上げます。ご指摘の点も含め「議会改革」に鋭意取り組んで参ります。議長

議会傍聴を活発にするため、町のホームページに事前に質問事項を掲載していただきたい。当日出向いてみたいとわからないようでは、いそがしい住民は傍聴に行きたがらない。

矢掛地区 桑木道夫さん

〇ご意見を頂戴し、実施の可否を協議致しました。定例会を控えた直前の議会運営委員会にて日程ほか内容等が確定した段階で速やかにホームページへ掲載を行います。ご提案、感謝申し上げます。



ぎかい君

議会傍聴してみませんか？

- ◎定例会本会議(一般質問)や常任委員会(付託審査)はどなたでも傍聴が可能です。
- ◎定例会開催期間中は、矢掛町役場の3階にある議会議務局が受付窓口となっています。



* 矢掛公民館さん *

* 美川公民館さん *

* 川面公民館さん *



* 三谷公民館さん *



* 山田公民館さん *



生涯学習・防災減災の拠点！… 公民館巡察
総務文教常任委員会は9月の小田・中川地区に引き続き他5地区の公民館の視察を10・11月に行いました。各地区ごとの特色ある運営や事業、また今ある課題等をお聞きし議会として関われる取り組みの参考となりました。



ふるさと推進事業・伝建地区の保存と活用・ゴミ減量化施策…総務文教常任委員会

同委員会（浅野毅委員長）は令和4年10月5日から福岡県内3市町村において行政視察を行いました。研修地とテーマは次の通りです。

- ①東峰村…地域おこし協力隊活動・指定管理施設の運営・移住支援ほか
- ②八女市…伝建地区の保存及び活用したまちづくりほか
- ③大木町…ゴミ減量化による財政支出削減と「もったいない宣言」など



↑八女市の横町町家交流館における研修。行政と各団体が連携し、町並み保存会を形成し町家の再生活用に取り組みながら「観光まちづくり」の推進に関する研修を行いました。



〇生ゴミを発酵させて得たメタンガスを有効利用するなど無駄をなくし地域資源を活用する仕組みを研修しました。



- ①東近江市…データ連結による高齢者のフレイル防止に関する事業ほか
- ②富山市…病児保育施設の運営概況と事業実施への諸課題について
- ③津幡町…農作業の受託（資産保全等）及び後継者育成と農産物加工事業ほか



↑富山市：わかかさ保育園での研修。「病児保育」の施設運営を学びました。

⇒東近江市：介護予防の先進地研修。



↑津幡町：JA石川かほくでの研修。中山間地域の農地保全・農業就農者育成などに取り組むJA出資型農業組織の運営・取り組み等を研修しました。



フレイル防止施策・病児保育施設運営・JA出資型農業法人…産業福祉常任委員会
当委員会（原田秀史委員長）は令和4年11月14日～16日、①滋賀県・②富山県・③石川県各地の行政及び民間施設や事業所における視察研修を行いました。各研修地とテーマは左上の通りです。



矢掛町 教育長 山部英之氏

令和4年4月より新しく我が町の教育部局のトップに就任された山部教育長。
学校教育・生涯学習など、老若男女問わず我々町民との距離は大変近いお立場にある教育長をお招きし、教育行政全般にわたってお話を伺いました。

就任直後から町内小・中学校を自ら回られ「現場に足を運んで実態を知る」との方針のもと児童・生徒・教員・保護者とのコミュニケーションに重きを置かれる山部教育長。
インタビューの最中には「ふれあい」という言葉がたびたび聞かれ、新教育長のお人柄が垣間見え、本町の教育行政進展へ向けてその手腕発揮が期待されます。(収録・令和4年10月25日)

教育長かく語る…我が町のエデュケーション ―未来展望― 人と地域とで育む“やかげっ子”!!

ふる里矢掛を愛し、ふる里矢掛で活躍するたくましい子供の育成

Q. 不登校児童への学習指導や生活支援などへの対応方針は？

教育長 まず、休みがちな児童の保護者との連携を密にしたい。

担任・保護者・学校の管理職が子どもの状況についてきめ細かく情報収集しながら対応していく。どうしても教室に入りづらい子どもがいる。いきなり「教室へ」ではなく保健室や別室対応の取り組みを進めたいと考えている。

中学校では県の指定を受け『心の教室』という名称で別室指導員を配置している。更に町からの支援員も含め、学校の教員と協力し不登校傾向の子どもたちへ寄り添う支援を進めている。またどうしても登校することが難しい子どもたちには適応指導教室『ひまわりの家』を開設しており、少しでも



『ひまわりの家』準備に余念がない指導員さん

人や社会とふれあうことの心地よさを感じてもらいながら自己肯定

感を高め、子どもたち一人一人が自信を持てるような環境を作っていけたらと考えている。

Q. 現在、町内の小・中学校の学力は全国的に比較してどうか？

教育長 8月に発表した小学校の全国学力テストの結果は全国平均を上回っている。中学校は公表されていないがよくがんばっていたようだ。

学力向上には地道な取り組みが必要で、普段の学習の充実を進めたい。子どもたちの履修度合いをチェックし、補充学習をきちんと行いたい。

矢掛町は、地域の方々のボランティアによる応援体制が充実しており、大変ありがたいことだと思っている。

また放課後に実施している「水曜日学習会」は退職された先生方が指導に当たられており誠に素晴らしい取り組みだと思う。

Q. 子どもたちの社会性やコミュニケーション能力など様々な事柄を包括した学力向上についてはどういう方針で臨まれるのか？

教育長 「生きて働く知識・技能の習得」「自ら考え表現する力」「自信や意欲、人間性」など、子どもたちが予測困難なこれからの社会を生きぬくために必要な能力を育成することを目指す。

そのためにも、学校と地域や家庭、行政が一体となって子どもたちの成長を支えていくことが大切である。

Q. 今後の外国語教育の推進についての方針や取り組みは？

教育長 ネイティブの英語に直接ふれることはとても重要である。そのような機会を確保したい。

学校の中で、先生やALT（外国語指導助手）と子どもたちがお互いに英語で会話する機会を設けるなど、英語による表現活動に親しんでほしい。



特色ある矢掛町の外国語教育の取り組みである『小学生イングリッシュ・デイ（※P20に関連記事）』は毎回25人〜50人の児童が参加しALTと一緒に英会話の中でゲームや英語学習を行っている。町内他の学校の小学生同士ふれあうことができ、矢掛高校の生徒さんもボランティア参加している大変素晴らしい取り組みなので皆さんも一度遊びに来ていただきたい。

Q. いじめ問題についてはどのような対策を進めるのか？

教育長 まず「いじめ」の認識が本人が辛い思いをしたと感じたときはいじめであると捉えている。そのような時には一人で胸の内にしまっておくことなく、家族・友人・先生や教育委員会等に

相談するよう直接子どもたちに話した。

各学校では、いじめ問題対策基本方針に基づいていじめの早期発見・早期対応に努めている。家庭や地域、関係機関が連携してこのような取り組みを継続することが大切である。

Q. 文化センターの活用、特に文化芸術活動に関するソフト展開を推進し、良質な催しを企画運営するため実行委員会の設置が必要と考えるが教育長のご見解は？

教育長 生涯学習事業やイベントの開催については、町民皆さんの声、職員の声をしっかり聞きながらより良い形にしていきたい。

催しの企画や運営は教育委員会のみならず皆さんから意見を聞き工夫と改善を図っていきたい。

Q. 高齢者の生きがいづくりの観点から、気楽に参加できる生涯活動の風土づくりを進めて欲しいが教育長の今後の方針・見解は？

教育長 出会う場・ふれあう場、高齢者の方も含めて人と人がふれ

あつ機会を増やすことが必要だ。そのために文化センターや公民館等のハード面を有効に使うべくソフト面を充実させる。高齢者の方には「今日行く所を作る、何かを話す人を見つける」場と企画を提供し体を動かかし心を動かす機会と場を作っていきたいと考えている。

Q. 最後に教育行政全般に関する所感をお聞きたい。

教育長 今、町内の教育現場を巡回している。現場に足を運び施設も含め先生・保護者・生徒とふれあう。やはり実態を知る事が大切でこれからも実施したい。矢掛町はコミュニケーション



ティースクー

ルに早くから取り組んだ先進地だ。地域と共にある学校づくりを進め『ふる里やかげを愛し、ふる里やかげで活躍するたくましい子どもの育成』に教育委員会としてしっかり取り組んでいきたい。

（おわり）



町民と議会の懇談会

シリーズ町びとの声を聞く

『不断の防災意識を持つ!』―後編―

いざ!の時に備えて…防災活動の継続、その課題は?

今、重要な行政課題の一つである「防災・減災」への様々な態勢構築ですが、その実効性と有効性を高めるには地域住民が主体となり「自助・共助」を基本とした不断の取り組みと心構えが必要です。

町内7地区の自治協議会長との意見交換において様々な意見を共有する中で浮きぼりになったことは『有意な自主防災活動の継続と引き継ぎへの懸念』といった課題です。

前編(本紙第27号)では災害発生に関する各地区ごとの危険要因や地勢がもたらす予測被害、それに準じた自主防災会等の取り組みをお聞きしました。

過去の災害の検証から、我々町民の安心・安全を守るため、自主防災組織が果たす機能はいかにしてこれを保持しつつ継続して行くのか?後編ではこのような組織の現状を踏まえた課題に迫ります。

懇談参加者

矢掛地区自治協議会長 武井 澄雄氏
 美川地区自治協議会長 渡邊 求氏
 三谷地区自治協議会長 小原 敏之氏
 山田地区自治協議会長 坪井 正男氏
 川面地区自治協議会長 有安 繁騎氏
 中川地区自治協議会長 江木 典雄氏
 小田地区自治協議会長 三宅 幸雄氏
 矢掛町議会 広報広聴常任委員会(6名)

花川(コイケ)さん ここからは各地区で設立されている自主防災組織の概要や活動内容と有効性、更に各地区の特色など組織率も含めてお話を伺いたい。



武井会長(矢掛地区) 矢掛地区の組織率は平成30年は23%であったが令和4年4月には62%となった。町内7地区平均の組織率82%に比べればまだまだだ。組織化の障害と思われるのは自主防災組織の規模。小さすぎる町内会では活動ができず、自治会全体のような大きい

規模では有効な運営は難しい。適度な町内会単位が良いのではないかと思う。

地域防災に関わる組織としては消防団・民生委員・防災士と自治会役員の連携が大変重要だ。矢掛地区内の各自主防災会で声を出しあって常に新たな活動に取り組みたいと考えている。

福田副委員長 自主防災組織の構成メンバーの中には女性が少ないイメージがある。



災害時にこそ女性の優しさ・対応の柔らかさは力を発揮すると思う。災害発生時に備えて安全な環境の中で女性ならではの働きができるように自主防災組織として女性の力を活用できれば有意義。

有安会長(川面地区) ご指摘の通り災害対応時には女性は



重要な役割を担っている。各地区の社会福祉協議会や民生委員には女性の委員が多い。防災に関しては男女の区別なく上手にマッチングして運営できている。

三宅会長(小田地区) 小田地区は町内会単位での自主防災会の組織率は100%だ。更にその上に統括的な防災組織を一つ設置しており、自治会長・公民館長・民生委員・自主防災会の役員等でこれを組織している。



議会だより
YAKAGE(16)



指揮を執ることができるようになっている。
また災害発生時には、各自主防災会のような状況・情報を収集し、役場（災害対策本部等）に伝達するという役割を担っている。



個々の防災会では計画が困難な防災訓練や「いざ災害！」という時には全体の

地区	防災組織名	組織率	地区	防災組織名	組織率
矢掛地区	下小林自主防災会	63.8%	川面地区	東川面第一自主防災会	96.9%
	胡町自主防災会			サンコーポ自治会自主防災会	
	堀自主防災会			西川面自治会自主防災会	
	栄町自主防災会			宇内自治会自主防災会	
	矢高前自主防災会			里川面自治会自主防災会	
	うぐいす団地自主防災会		山田地区	城江自主防災会	84.1%
	矢掛西町自主防災会			里山田自治会自主防災会	
	和田自治会自主防災会			宇根町内会自主防災会	
	元町自治会自主防災会			猪又町内会自主防災会	
	上小林自主防災会			南原自主防災会	
	江木自治会自主防災会			広石自主防災会	
	上田町上町内会防災組織会			江本自治会自主防災会	
	上本町自治会自主防災会			中原自主防災会	
	中町自治会自主防災会		中川地区	浅海自治会自主防災会	100%
	東町自治会自主防災会			寺谷町内会自主防災会	
	宮ノ下自主防災会			江良奥山自主防災会	
美川地区	65.7%	中川地区		江良郷下自主防災会	
				江良山之神西自主防災会	
			江良八池自主防災会		
			江良岡田自主防災会		
			江良郷上自主防災会		
			江良山之神東自主防災会		
			江良片山町内会		
			本堀自治会自主防災会		
三谷地区	78.5%	小田地区	小田地区統合自主防災会	100%	
			熊林田自主防災会		
			有木谷自治会自主防災会		
			日置谷自治会自主防災会		
			中小田住宅自治会自主防災会		
			山ノ上自治会自主防災会		
			堀越自治会自主防災会		
			寺迫自治会自主防災会		
八幡谷自治会自主防災会					
川面	東川面自治会自主防災会		＊ 自主防災会組織率(令和４年９月現在) ＊		82.8%
高通Ｐ・Ｓ自主防災会					

地域防災…課題・懸念は？

花川（コーディネーター） 各地域の自主防災組織の有効な機能や取り組みが確認できた。一方、現況の中で課題があるとするればそれは何か？

坪井会長（山田区） 組織運営の適正な引き継ぎがない。

町内会長さんほか主だった方々が前向きに取り組まない又何も前に進まないの、地区会議で町内会単位での自主防災組織の設立を申し入れている。それを推進するため、町の防災士資格取得補助金制度を利用し



専門的なリーダーを育てるなど意識改革が必要だ。

武井会長（美穂区） なり手がないという点では自治会

長・町内会長、民生委員など本場に切実な問題で防災組織の継続にも関連する。町には防災に特化した総務防災課があり組織作りの指針や先進的事例を示すなりリードしてもらいたい。

江木会長（中川区） 町の方から県のモデル事業の案内が



あるが紹介されるのみ。もっと自主防災会の充実を積極的に考えて戴ければ…。

小塚委員長（町内会長職等の引き継ぎは重要な問題。住民の安心安全のためにはマニュアル作りを徹底して戴きたい。

それこそが自主防災組織の活動の力になるのではと思う。



渡邊会長（美穂区） 先程も述べたことだが、避難のタイ



ミングの難しさや、避難所開設時の役場との連携など訓練を行って始めて浮きぼりになることも含めそれらをマニュアル化して適正に引き継ぐことは重要だ。

花川（コーディネーター） 行政としても前向きに実現してくれている。土砂崩れや河川氾濫など災害の発生時に消防団員に小型重機の操縦ができるようになるなど対応状況は変わってきた。自主防災組織は総合的に安否確認や情報伝達を中心に機能する組織なのではないと思う。引き継ぎが適正でない場合でも避難訓練等を自主



災害時緊急対応！…小型車両系建設機械運転業務始動

町は災害時の緊急対応を企図し、あわせて対応できる人材育成を目的に、町役場職員・井原消防組合職員・矢掛町消防団員を対象に小型重機の運転業務特別教育を行いました。これはB&G財団さんから寄贈された3t未満のミニショベルを災害時に有効活用するべく操作資格者を育成するためです。防災力を強化すると共に、発災時の有効な対応が可能となる体制が整備されつつあります！



議員A子さん

防災会の全員が経験していれば例えば新しい町内会長になっても恒常的な情報伝

* 参加組織 *	
矢掛町役場職員	9名
井原消防組合職員	6名
矢掛町消防団員	5名
* 操作資格者 *	20名



達等ができ、引き継ぎも容易だと思われるが、それでも実現は難しいか？



住民主体の組織へ…適正な維持・引き継ぎの方策は？

小原会長(三倉区 町行政としても町民に対して防災士



の資格取得を後押ししている。資格取得者で構成される防災士会を有効に活用する方法はないのか？

昼田委員 現在、防災士がいない自主防災会も多い。将来的には防災士が中心と



なって運営に携わってもらえば良いが、今のままでは難しいと思われる。

“防災士”…自主防災組織のリーダーになり得るか？



ぎかい君

防災士とは、日本防災士機構の研修講座の履修を経て資格取得試験に合格し、様々な公的機関が主催する「救急法等講習」「普通救命講習」「上級救命講習」の受講修了認定証を取得した者に付与される民間資格です！

防災士の主な役割は、災害発生直後から初期段階における『自助・共助』に資する活動を実践することです。平時は近隣住民同士の協働による防災活動や、いざ！という時に備えての避難訓練実施など、その意義を含めた『防災意識啓蒙の担い手』としての活躍が今後期待されており、矢掛町の防災・減災のリーダーとも言えます。

* 矢掛町の取組 *

目的

地域防災の“担い手”の育成促進
“担い手”による地域防災力の向上

- 防災士資格取得 - 【補助金交付制度】

補助金交付規定に該当した方に
取得費用の 61,900 円を補助

防災士に与えるという提案は
取り組むべきだと思う。



土井委員 しかしリーダー
として命令系統の責任を防

立場なので、負担が過度に
高まる懸念が生じる。



岸野委員 防災士への期待
が大きいとボランティアの

有安会長(八雲区 自治会長
の任期は2年。これで交替
すれば組織の適正な維持は
難しいが防災士がリーダー
となれば機能維持は可能。

いので、運営のマニュアル
化や引き継ぎに取り組んで
いただきたい。ご自身の任
期中に得られたご経験を次
の方にしっかりと伝えて地
域防災がより良いものにな
るようお願いしたい。
【不断の防災意識を持つ】【おわり】



小塚委員長 町民の安心・
安全のために自主防災組織
の活動は継続してもらいた

今後もうこういう機会を設け
たいと思う。



意見交換総括
福田副委員長 地域防災は
自助・共助が前提。その意
味では各地区自治協議会
長さん方と
懇談・協議
ができた事
は議会とし
て大変有意
義であった。



議会だより
YAKAGE (19)

議 会 日 誌

- 【10月】 4日 議会運営委員会
5日 総務文教常任委員会視察研修～ 10/7
7日 議会全員協議会
産業福祉常任委員会
12日 矢掛町議会第3回臨時会
予算決算常任委員会【付託審査】
広報広聴常任委員会
19日 総務文教常任委員会 公民館視察
20日 広報広聴常任委員会
25日 広報広聴常任委員会
28日 滋賀県甲賀市議会産業建設常任委員会視察来庁
- 【11月】 2日 広報広聴常任委員会
4日 総務文教常任委員会 公民館視察
8日 総務文教常任委員会
9日 第66全国町村議会議長全国大会
10日 西部衛生施設組合議会
11日 広報広聴常任委員会
14日 産業福祉常任委員会視察研修～ 11/16
21日 井原地区消防組合議会視察研修
笠岡市・矢掛町中学校組合議会
22日 議会運営委員会
- 【12月】 2日 議会全員協議会
山形県川西町議会会派視察来庁
6日 矢掛町議会第4回定例会【議案提案説明・採決】
7日 同 上 【一般質問(7人)】
8日 同 上 【付託・採決】
9日 広報広聴常任委員会【付託審査】
産業福祉常任委員会【付託審査】
総務文教常任委員会【付託審査】
12日 予算決算常任委員会【付託審査】
14日 矢掛町議会第4回定例会【委員長報告・採決】
議会全員協議会
19日 総務文教常任委員会
26日 井原地区消防組合
井原地区清掃施設組合議会

最近、「野菜作り」に
目覚めて「家庭菜園」を
始めました。やってみる
と大変さが身に染みてわ
かるようにな
り、特に今は
水やりの大切
さを実感して
います。
また苗から
育てるよりも
種から育てると費用的に
安価でたくさんできると
いう事を学び、少しずつ
種類を増やしています。

議員閑話 こころ音



矢掛町議会
議員
『循環型社会』
川上淳司

現在畑には、大根・ほ
うれん草・人参・白菜・
レタス・じゃが芋・玉葱
などを植えており、今か
ゴミ処理について視察研
修へ行つて参りました。
生ゴミと尿、浄化槽汚
泥を混ぜて発酵させ、バ
イオマス発電
用のメタンガ
スと肥料を精
製するもので
液肥は10a当
たりたったの
千円で散布し
ているとの事でした。
矢掛町もこの手法を取
り入れれば我が家の菜園
も収穫が増えそうです。



個人や団体を問わず、趣味や文化講座・生涯学習・ボラン
ティアなど様々なジャンルで明るく元気に活動されている
“町びと”を取柄し、豊かな我が町「やかげ」を紹介します。



小学生イングリッシュ・デイ

ALT〈外国語指導助手〉

ブレンダ＝マリサ＝フォークさん(右)
サマンサ＝ジーン＝スティックニーさん(左)

「鬼ごっこ」はしやぎながら
走り回る子どもたちを弾ま
せ追いかけるサマンサさん。
もじもじして人の輪に入れな
い子どもに優しいまなざしで声
をかけているブレンダさん。
「イングリッシュ・デイ」の一幕、
サマンサさんは大学卒業直後
に来日。山登りが趣味で「富士
山に登りたい」が目標の22歳。
包み込むような笑顔が印象的
なブレンダさんは3人のお子さ
んと一緒に2度目の来日。
ALT(外国語指導助手)の
お二人のモットーは「子どもた
ちに楽しんでもらうこと」。
そのために工夫を凝らし英会
話でのコミュニケーション力育
成活動に取り組んでいます。
「日本人も矢掛町も大好き」
と言うお二人、会った時は気軽
に挨拶を交わしましょう！

編集後記

昨年後半から全国で
コロナウイルス陽性者
が徐々に増加する中で
とうとう年越し…。
しかし同時に国産の
コロナウイルス治療用
飲み薬(ゾコバ)の
販売が明るいニュース
となつて、今後感染症
対策の転換期を迎える
こととなるでしょう。
さて当広報紙は今号
から表紙のデザインを
刷新するなど一足先に
転換期を迎えました。
一般質問の枠では新
企画「質問台を降りて
：ひと言」というコラ
ムを設け、質問を終え
た議員が感慨や思いな
ど率直な内心を文字に
してお伝えします。
定例会における議決
内容や様々な行政情報
そして「議会の今」を
分かりやすくお伝えで
きるよう、本年も紙面
作りに日々取り組んで
参りますので愛読の
程お願い致します。
(E・K)